

報 伊 方 町

発行所 愛媛県西予郡伊方町浦田
〒796-03 伊方町8-0211
伊方町 室
編集長 公
印刷所 豊
豊 八幡浜市松崎 〇22-0144

今月の紙面

二面……庁舎内の配置が変更
三面……明治百年記念公園
郷土の生んだ詩人の句碑除幕
故郷の思い出
四面……あなたの税が生きている

勇壮に四つ太鼓練る



かつぎ手はおおよそ30人。4人の奴(やつこ)を乗せ、勇壮に練り歩く四つ太鼓。九町の八幡神社へ奉納しています。

豊作の秋 食生活の主役はお母さん

「チヨーサヨ、チヨーサヨ」の掛け声に合わせて、四つ太鼓が練り始めるころになると、町内の秋祭りは、十月十六日から十八日までの三日間行われ、おおぜいの人出でにぎわいました。

豊作を祝った秋祭り、食欲の秋にちなみ、わたしたちの主役のお米を中心とした食生活について取り上げてみました。

お米を中心とした、わたしたちの食生活は、栄養の面から見て、平均的にはバランスのとれた望ましい姿であると言われている。しかし、個人個人の食生活を見ると、栄養の偏った食べ方として、いる人も多く、特に最近では欧米型の栄養過剰タイプが増えています。この傾向が続くと、将来、心臓病や動脈硬化などのいわゆる成人病にかかる人が増えてくるものと懸念されています。

注目される「お米」 安くて良質のタンパク源

子供に「お米を中心とした食生活を……」と言っても、子供はお母さんが作ってくれた料理を食べるが、「仕事」です。そこで、お母さんに、お米に対する理解を深めてもらうことがたいせつです。お米の良さを考えてみましょう。

▽お米は良質なタンパク源
タンパク質の体内での利用率が高いほど質がよく、体内で効果的に利用される。で見ると、理想タンパク源と言われるタマゴ(100)に対して、お米は七七七、牛肉の八〇、牛乳の七四とほぼ同じになっており、小麦粉、大豆の五五より高くなっています。

	タンパク質 (P)	脂 肪 (F)	炭水化物 (C)
理想型	12-13	20-30	57-68
日本	12.9	25.1	62.0
アメリカ	12.5	44.1	43.4

また、単面的に見ても、他のタンパク質とくらべて経済的である。理想的なお米中心の食生活。なぜ、お米を中心とした食生活が栄養のバランスを取りやすいのでしょうか。その理由として次の点が挙げられます。

①ごはんそのもののカロリーが低いので、ほかの食品との組み合わせがいろいろできます。つまり、パラエティに富んだお米がそとえられるのです。

②ごはんは和・洋食・中華などのどんなおかずとも合います。

③ごはんは満腹感が強いので、さらには、欧米のように栄養の偏りからくる心臓病にかかる人が増えるのではないかと心配されています。



お母さん、健康的な食生活を演出するお米の役割を認識し、わが家の食生活を見直してみてください。

34ミリで例年の4分の1

10月の天気

少なかった雨量

十月の降雨量が平年にくらべ非常に少なかつたため、柑橘類の糖度を高め、品質向上にはつながつた。

反面、果実の肥大が悪く小玉が目立つ。着色面でも紅の淡いものが多くなると予想されるため、今後採取を行なう伊予柑・ネーアルなどに二回は着色剤十腐敗防止剤を一回散布してください。さらに貯蔵管理をできるようにしましょう。

また、早急に晩肥を施し、樹勢回復を早めることがたいせつです。

八幡浜農業改良普及所

果樹園メモ

降ったり降らなかったり、雨に泣かされる今年の天気。先月(十月)の降雨量は、例年にくらべると極端に少なくなっています。(右図参照)

町の気象観測所の測定によりますと、十月に雨量が記録されている日は六日間、合計降雨量は三十四ミリでした。

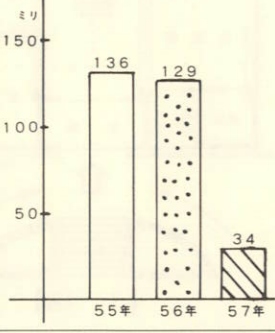
昨年の十月が百二十九ミリ、一昨年が百三十六ミリですからおおよそ四分の一です。来る日も来る日も雨だった七月の降雨量が五百ミリ、最も多かった日には百三十三ミリ、一時間に三十五ミリも降りました。

こうして見ると、今年の十月は、いかに雨が少なかったかがわかります。

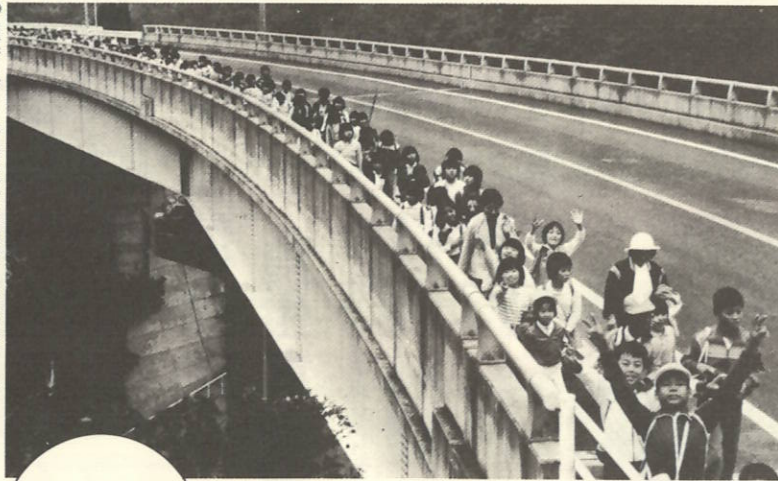
また、気温を見ても、今年十月の平均気温が十七八度、昨年よりは一度あまり高くなっています。

最高気温が十月十五日の二十四度、最低気温は二十四日の八度五度でした。

10月の降雨量



国道バイパス川水田第二橋付近を健歩する参加者の皆さん。



目的地の九町越公園で、家族や友人と楽しい昼食。



カメラリポート

歩け歩け運動に300人 歌やゲームにこだます歓声

今年も、恒例の体力つくり「歩け歩け運動」が十一月七日に行われ、小学生や一般の方々およそ三百人が参加いたしました。

今年の目的地は九町越公園。役場前、豊之浦小学校、町見公民館前、二見小学校からの四つのコースからそれぞれの目的地を目指しました。

当日の天気はあいにくの曇り空。午前九時、今にも降りだしそうな雲行きの中、福田町長や浜口教育長の激励のことは受け元気よく出発いたしました。

このころからパラパラと降り始め、心配された天気も午前中は小康状態となり、一時半ほどで目的地の九町越公園へ全員無事到着いたしました。

さつそく、伊方町V.S.連絡協議会のお兄さんやお姉さんの指導で、歌やゲームが行われ秋空に子供たちの歓声がこだましていました。

このあと昼食、自由時間と続き、最後にクイズ発表が行われ、賞品を手にとり二時ごろ九町越公園を後にしました。

四コースから 目的地めぐり

今年も、恒例の体力つくり「歩け歩け運動」が十一月七日に行われ、小学生や一般の方々およそ三百人が参加いたしました。

今年の目的地は九町越公園。役場前、豊之浦小学校、町見公民館前、二見小学校からの四つのコースからそれぞれの目的地を目指しました。

当日の天気はあいにくの曇り空。午前九時、今にも降りだしそうな雲行きの中、福田町長や浜口教育長の激励のことは受け元気よく出発いたしました。

このころからパラパラと降り始め、心配された天気も午前中は小康状態となり、一時半ほどで目的地の九町越公園へ全員無事到着いたしました。

さつそく、伊方町V.S.連絡協議会のお兄さんやお姉さんの指導で、歌やゲームが行われ秋空に子供たちの歓声がこだましていました。

このあと昼食、自由時間と続き、最後にクイズ発表が行われ、賞品を手にとり二時ごろ九町越公園を後にしました。



みんなで楽しんだゲームの時間

建設課・産業課は三階に 役場内を一部改造

十二月中旬には移動完了

役場庁舎内の各課室などの配置が一部変更になります。現在改造工事中で、十二月中旬ごろまでには移動が完了する予定です。

これは、役場庁舎東側にもうすぐ完成する「町民会館」の建設に伴うもので、三階の会議室と和室を、手狭になった事務所に改造いたしました。

主な移動は、一階にあった産業課と二階の企画財政課、原子力対策室、建設課がそれぞれ三階へ、すでに移りました。

また、現在四階の教育委員会事務局が二階へ、庁舎外にある南子用水対策室が一階になります。

このほか、移動完了後の各課室などの配置図は下欄のとおりです。

こうした改造工事や事務所の移動などで、役場へ来られる住民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしています。しばらくの間ご協力ください。

なお、住民票や印鑑証明の交付、国民健康保険、年金、税金などの普段利用する機会が多い窓口は、今までと同じ一階にあります。

役場内を一部改造

十二月中旬には移動完了

役場庁舎内の各課室などの配置が一部変更になります。現在改造工事中で、十二月中旬ごろまでには移動が完了する予定です。

これは、役場庁舎東側にもうすぐ完成する「町民会館」の建設に伴うもので、三階の会議室と和室を、手狭になった事務所に改造いたしました。

主な移動は、一階にあった産業課と二階の企画財政課、原子力対策室、建設課がそれぞれ三階へ、すでに移りました。

また、現在四階の教育委員会事務局が二階へ、庁舎外にある南子用水対策室が一階になります。

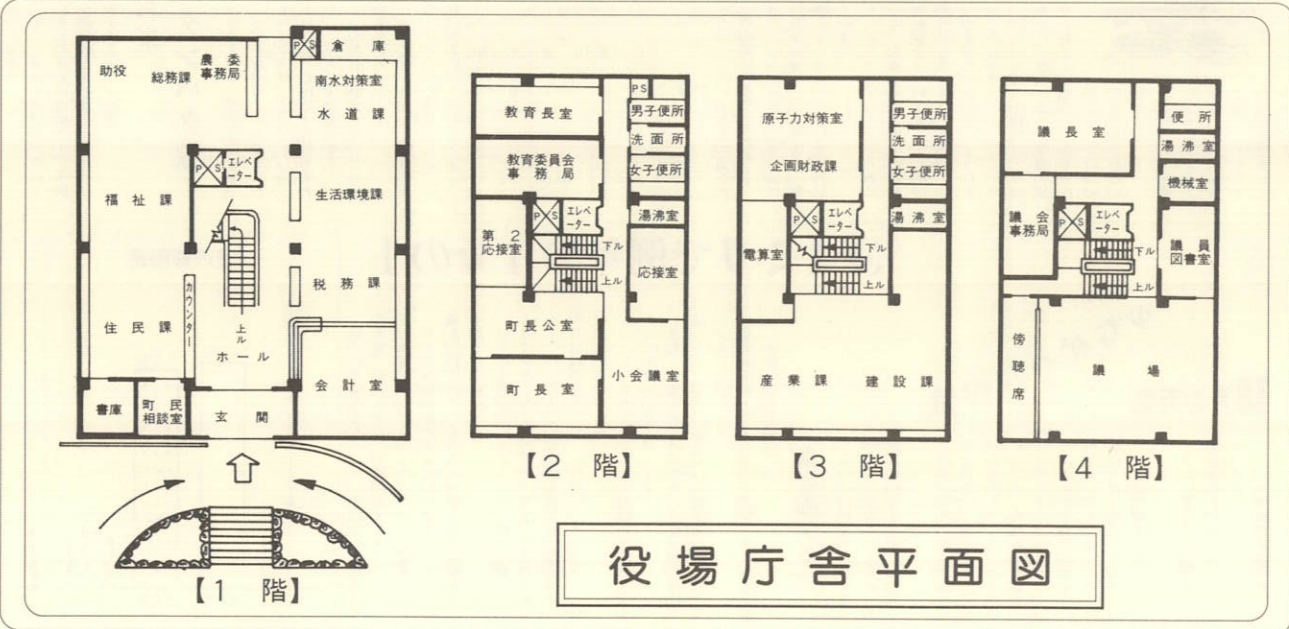
このほか、移動完了後の各課室などの配置図は下欄のとおりです。

こうした改造工事や事務所の移動などで、役場へ来られる住民の皆さんに大変ご迷惑をおかけしています。しばらくの間ご協力ください。

なお、住民票や印鑑証明の交付、国民健康保険、年金、税金などの普段利用する機会が多い窓口は、今までと同じ一階にあります。



一般の方々もたくさん参加しました。



高橋・野村両氏の「文学碑」除幕



高橋氏と文学碑、右側が野村氏の碑。

第十五回「日本詩人クラブ賞」を受賞するなど、郷土の生んだ世界的に有名な詩人、高橋新吉氏と故野村義弘氏の「文学碑」除幕式が、十月八日中央公民館前の明治百年記念公園で行われました。

文学碑は、伊方ライオンズクラブの結成五周年記念事業の一つとして建立したもので、当日は高橋新吉氏ご本人のほかライオンズクラブ会員など百二十人が出席。両氏の夫人の手で除幕が行われました。二人の文学碑は、明治百年記念公園内に並んで建立され、青石に白字で刻み込まれていきます。

高橋氏の文学碑には自伝「海の中」より次の句が刻まれていいます。
私は海の中で生まれた
一九〇一年一月二十八日
一枚の鱧にさう書いてあつた
伊予の西南の象の鼻のやうに突き出た半島の中ほどの伊方である
高橋新吉
また、野村氏の文学碑は代表作の次の句です。
牛は牛
蟻は蟻と歩いてる
野村義弘



高橋新吉氏

伊方町小中浦に生まれる。父春次郎(伊方尋常高等小学校教師)母マサの次男。八幡浜商業中退。大正十二年三月「タイスト新吉の詩」を中央美術社より刊行。昭和二十三年間足利紫山老師に参拜。老師と共著の「臨濟録」を出版。昭和三十六年美術論集「すずめ」を毎年一冊ずつ第十集まで刊行。

昭和四十六年英訳詩集「残像」がイギリスとアメリカで出版される。昭和四十七年十月「定本高橋新吉全詩集」を刊行。これにより翌年芸術選奨を受賞。昭和五十六年二月詩集「空洞」刊行。昭和五十七年六月詩集「空洞」にて日本詩人クラブ賞を受賞。野村義弘氏

西宇和郡三瓶町泉に生まれる。大正十二年伊方実践農業学校の教員として赴任。以来、三崎半島を中心に郡内を歩き回って植物の分布状態の調査を開始。昭和二十一年「湊浦の野村家の養子」となる。俳句の道は、螺岳泉(が)がくせんと名乗り逝去された昭和四十五年までの抄句は二千四百六十二句に及んだ。その中には多数の秀作が残されている。

故郷の思い出

福田直吉(伊方町長)

息に引かれて善光寺ならぬ、ふる里を後にして大都會神戸の地へ出てから早くも二十数年が過ぎました。

悲嬉もこも、いつの場合でも懐かしいふる里の思い出が、私達の心のさえずりとなって今日まで頑張ってこれたものと信じています。

「耕して天に至る。段々畑を背に」「せむら」と「室屋」に抱かれた伊方湾の風景、手を届きそうに浮かぶ大小の島々、その間を行き交う八幡通いの八幡丸や繁久丸の白い航跡、また時間によって沖合には別府航路の本船も見られました。巡航船、伊予丸、千鳥丸、

八伊川丸などが各部落の機橋を出入りしてにぎやかでした。当時は浜が広く子供たちの格好の遊び場でした。春暖かくなると海を待ち兼ねたように海に入り「タコ」や「魚」を取る男の子、そのすぐ目の前「ホンボン」と威勢よく飛魚がはねてあきつて行きます。女の子は、長く伸びた「アオサ」を髪の毛のつもりで「三編み」にしたり、足元に潮が満ちくるまで夢中で遊んでいたものです。

潮干狩りに行くとき、二、三ナが沢山取れ、ひな祭りのひな段にお供えしていました。時間が経つと鉢の側へ何重にもくつつき合せてびっくりしたことを覚えていいます。

そんなころになると、どこから渡ってくるのか室の山並みを



巡航船がにぎやかに出入り

福井 数江 (旧姓・梶谷=仁田之浜出身)

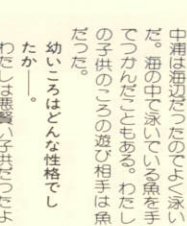


八幡浜通いの巡航船、昭和43年ごろ川永田で。

背景に白ササの群れが銀色に輝きながら舞い、飛ぶ美しい光景が毎日のように見られました。

春は敬祖公園の桜のトンネルと花ふぶき、夏の夜のわぬけには、かき氷、を売る店の前は子供たちでいっぱいでした。

夜に小学校の校庭で行われる部落抗の総踊りは見事でした。中でもわたしの部落は、にわかたほど、抱腹絶倒の珍芸を演じる人が沢山おられ、今でも思い出しておおきくなります。



インタビュー

高橋氏 郷を語る

五十年ぶりに帰郷された町が生んだ詩人、高橋新吉氏に、故郷伊方についてインタビューしました。伊方について紹介しますが、ここで、いつごろまでおられましたか。

父親が伊方尋常高等小学校(今の伊方小学校)の教師をしていたので、四歳まで小中浦にいた。わたしの戸籍は伊方で出生届けられている。この方記載されていないが、以前へてもう小中浦甲(〇〇番地)であることがわかった。今の公民館裏側あたりにわたしの思い出。

そのころの思い出があれば家の間隔に年々、男の子がいて、その男の子とよくけんかをしたことを覚えていいます。

土地を売ったり 買ったりするとき

一定面積以上の土地を売ったり、買ったりしようとするときは、あらかじめ、その土地が所在する市町村に届出をしなければなりません。届出は、届出の期日は契約をしようとする日の六週間前までとなっています。

一町歩以上は届出を

このほか、届出方法などは、届出方法などの詳しいことは役場企画財政課までおたずねください。

人権コーナー

人権は 尊重するもの 守るもの

十二月四日から十日までの一週間が「人権週間」です。

「人権」と言うと、何か難しいもの、考えがらみですが、決してそうではありません。わたしたち一人一人が社会のなかで幸福な生活を営むために必要な、人間としての当然の権利——それが人権です。

